

2020年10月20日

「青春の宝」プロジェクト 元ラグビー日本代表廣瀬俊朗・浅野良太さんが 高校生にエールを送りました

当社団では高校生選手たちの『思い出の試合』に、トップ選手たちが本格的な解説と実況を付けてプレゼントする『青春の宝』プロジェクトを進めています。

今回は、「新型コロナウイルスの影響で自分たちの学年は高校最後の大会がなくなるかもしれない。『青春の宝』に応募して仲間との思い出を残したい」との思いで応募した本郷高校3年生ラグビー部員に答え、今年の1月に行われた新人大会の試合動画に、元ラグビー日本代表の浅野良太氏（本郷高校ラグビー部OB）と廣瀬俊朗（スポーツを止めるな：共同代表理事）が解説を付け、同校にプレゼント・上映会を行いました。当日現地参加した廣瀬俊朗たちから激励の言葉を受け、渡辺主将は「解説をつけていただき改めて自分たちの強みと弱みを確認できた。新人大会では悔しい思いをしたけど、最後の大会では笑って終わりたい」などとコメントし、全国大会への出場と勝利に向かって決意を新たにしました。



実況はSports Zone株式会社（代表：谷口廣明）との連携・協力のもと実施しています。

<主将・応募選手・父兄・顧問のコメント>

本郷高校ラグビー部 主将 渡邊勇太（わたなべゆうた）

9か月前の自分たちの映像に解説をつけていただき、こうして改めて観ることができ、成長した部分や強み、足りないところを再確認出来ました。新人大会では悔しい思いをした分、必ず全国大会に出場して先輩が成せなかった花園で勝利をあげ、最後は笑って終われるように努力します。

本郷高校ラグビー部 応募者 佐々木柊（ささきしゅう）

今回の映像は、自粛期間中ラグビーができない中で、悔しい思いをしながらも何度も見直した試合でした。その映像にプロの実況解説をつけていただき嬉しさとともに、改めてこの悔しさをバネに花園予選を勝ち上がり、目標の「花園で年を越す」（ベスト16）を達成したいと思いました。

本郷高校ラグビー部 父兄代表 渡邊美子（わたなべよしこ）

新型コロナでの自粛期間中に、自分たちで負けた試合を分析したり、それをZOOMで話し合ったり分析したりする姿を見てきたので、それに今回の解説をさらに活かして3年生最後の大会に臨んでほしいと思います。年末年始を花園で過ごせるように、最後まで応援しています。

本郷高校ラグビー部 顧問 野上敦司（野上敦）

3年生は、周りに最後の大会がなくなってしまった同級生たちもいると思う。そんな中、今ラグビーができる環境に感謝の気持ちを持ち、また今回解説していただいた内容をこれからのプレーにしっかりと活かして、関係者の皆さんにいい結果を残して恩返しができるように、最後まで一丸となり頑張っていきたいです。

<報道におけるお願い>

メディア様でお取り上げ頂く際は、可能な限り当社団のロゴもしくはコミュニケーションロゴをご使用頂きますようお願い申し上げます。



<問い合わせ>

取材申し込み、活動内容へのお問い合わせ窓口はこちら。

info@spo-tome.com